

シェアしたくなる教養メディア

# 「文藝春秋digital」 広告掲載のご案内

<https://bungeishunju.com/>

2019年11月にクリエイターのためのメディアプラットフォームnote上にて文藝春秋digitalが誕生しました。noteの月間アクティブユーザーは約2000万人。活字好きで知的好奇心の高いユーザーが多いこともあり月間UUは約16.3万人（2020年1月値）と、着実に成長を遂げています。SNSとの相性も抜群によく、クオリティの高い記事は多くの方々にシェアされ、WEB上で話題になる記事も増えています。

こちらのサイトでは記事タイアップの制作や「文藝春秋」本誌掲載タイアップの転載メニューをご用意しております。インフルエンサーを起用したコンテンツ制作や、noteユーザーに積極的にシェアされる“良記事”など、noteのプラットフォームを最大限に生かした展開が可能です。是非、企業イメージUPや商品・サービスの訴求、リクルーティングなど、広報・宣伝活動の一環として文藝春秋digitalをご活用ください！



- ・ 記事同様のレイアウトにてタイアップを制作
- ・ 記事はPRカテゴリーに格納
- ・ タイアップ掲載スタート時にフォロワー・購読会員にメールで通知  
購読会員にはアプリ通知も実施。
- ・ 掲載中はSNSにて何回も発信  
多くの人々のシェアを目指します  
(文藝春秋公式アカウントのTwitterアカウントより発信します フォロワー数計45000人)

- ・ オリジナルタイアップ掲載料金
- ・ 「文藝春秋」タイアップ転載料金

**80万円**  
**30万円**

# ALL ABOUT 文藝春秋digital

Q1:そもそもnoteってどんな媒体？ SNSとかですか？

メディアプラットフォームnote は、クリエイターが文章や写真、音声を投稿することができ、ユーザーはそのコンテンツを楽しんで応援できるウェブサービス。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。プロもアマも混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がるメディア。2014年4月にサービスを開始し、約500万件の作品が誕生して月間アクティブユーザー数は2000万人（2019年9月時点）を達成。note発の書籍も多数あり、ベストセラーランキングを賑わせています。



Q2:なぜ老舗雑誌の文藝春秋がnoteにやってきたの？

およそ100年前、文藝春秋を創刊した菊池寛は創刊の辞として「私は頼まれて物を云うことに飽いた。自分で、考えていることを、読者や編集者に気兼ねなしに、自由な心持で云ってみたい」という言葉を残しましたが、noteもまた「クリエイターによるクリエイターのためのメディア」としてスタートしたサービスです。お互いその理念を共有し、これまでの雑誌・ネットの垣根をこえて、読み応えのある良質なコンテンツを新たなユーザーに届けられる最適な場所だと判断したからです。

Q3:プロジェクトリーダーの村井さんって誰？



「文藝春秋digital」  
プロジェクトマネージャー  
村井 弦

週刊文春、文藝春秋の編集部を経て、2019年、文藝春秋digitalプロジェクトマネージャー。文藝春秋で担当した記事は『大地震からの再出発 ドキュメント熊本日日新聞編集局』『許永中の告白』『自殺・近畿財務局職員父親の慟哭手記』など。note上での個人アカウントのフォロワーは2000人を超え、編集者個人として、文章を書くノウハウなどを公開。また、noteイベント『愛されるWEBメディアを考える』や『DIGIDAY PUBLISHING SUMMIT』など多数。文藝春秋digitalのローンチの際には『ワールドビジネスサテライト』や『日経ビジネス』など多くのメディアで紹介されました。

**タイアップ掲載の際には、プロダクトマネージャーの村井が自ら制作ディレクションをいたします！**

オリジナルタイアップ掲載のほか、noteとコラボレーション企画としてのnoteユーザー参加型のコンテスト企画や、イベント等を絡めたオリジナル企画も実施可能です。是非お気軽にお問合せください。